

大村ゆかりの絵本作家・太田大八氏を囲んで

▶ ころ育む絵本フォーラムin大村

11月23日



日本を代表する絵本作家で、幼少期を大村で過ごした太田大八氏を囲む「ころ育む絵本フォーラムin大村」を郡コミセンで開催しました。フォーラムは、健全な子どもたちの心とからだの成長を育むには、幼児期からの絵本の読み聞かせなどがいかに大切かというメッセージを伝えるもので、代表作の「だいちゃんとうみ」などの読み聞かせや二羽史裕氏（九州龍谷短期大学教授）との対談などに130人の参加者は熱心に聞き入りました。

まだまだ使えるね！

11月14日

▶ もったいない抽選会

清掃センターに持ち込まれた家具などを、希望者に再利用してもらう抽選会を同センターで行いました。会場には、職員などが少し手を加えよみがえった自転車や整理棚など80点が出品され、投票した皆さんはお目当ての品が当選すると喜んで引き取っていきました。また会場では、環境に関するイベントなどが行われ500人の人出でにぎわいました。

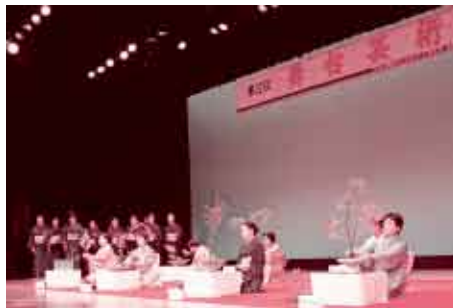


華麗に舞台芸術を披露

11月14日

▶ 第22回舞台芸術祭

芸術の秋。大村市文化協会が主催する第22回舞台芸術祭が、市民会館で行われました。舞台では、日舞、民踊、華道、吟道、民謡、謡曲、大正琴、ハワイアンフラ、胡弓、尺八、子どもパレエなど25団体300人が日ごろの稽古の成果を披露し、約750人の観客から大きな拍手が送られました。



郷土が生んだ世界的物理学者に思いを馳せて

12月5日

▶ 長岡半太郎没後60年記念講演会

大村市出身で明治期に「土星型原子模型」を提唱した世界的物理学者、長岡半太郎没後60年を記念した講演会が、子ども科学館で行われました。湯川秀樹、朝永振一郎など世界的物理学者を育てた長岡半太郎の生い立ちや業績について、福山豊氏（長崎大学名誉教授）と藤井光廣氏（長崎総合科学大学名誉教授）が講演し、参加者たちは郷土が生んだ偉人の業績に改めて誇りを実感しました。



しあわせ街道をライトアップ

12月4日

▶ 第8回しあわせイルミネーション点灯式

師走に入った国道444号（愛称：しあわせ街道）沿いの萱瀬中学校グラウンドで、しあわせイルミネーションの点灯式が行われました。周辺の各家庭などが地域をあげてイルミネーションの飾りつけに取り組み、自然豊かな暗闇にきらきらと輝く美しさに、マイカーを停めて記念撮影する家族連れなどでにぎわっています。このイルミネーションは1月10日（月・祝）まで点灯されます。





諫早市とも交流を深めた秋の収穫祭

▶第10回おおむら秋まつり

11月28日

恒例の秋まつりが、さくらホール駐車場で行われました。ちょっと肌寒い天候でしたが、会場では大村産の精肉や新鮮な野菜・特産物などの販売に加え、今年は、ダンスバトル2010や諫早市からののこの節踊りなどの初参加をはじめ、郷土芸能の黒丸踊、水主町ココロデショや三城子供太鼓、民踊など多彩な催しが行われ、訪れた約20,000人の皆さんが秋の好日を楽しみました。(表紙も同行事)



出席いただいた顧問の皆さんは、
奥雅春氏(ブリヂストン顧問)、紀内隆宏氏(全国市町村
振興協会顧問)、志摩篤氏(偕行社副会長)、杉田亮毅氏
(日本経済新聞社代表取締役会長)、中西英介氏(元SU
MCO TECH X I V顧問)、錦戸忠彦氏(宇宙航空研
究開発機構顧問)です。(五十音順)

第12回大村市顧問会議を東京都
内で開きました。市側から松本崇市
長をはじめ5人が出席し、大村市にゆ
かりがあり大企業などのトップで活
躍されている顧問の皆さん6人に、市
の現状や展望などを説明し意見交換
を行いました。顧問の皆さんからは、
意見や質問が寄せられました。

経済界などのトップが アドバイス

11月17日



市政の できごと

information about the municipal administration



秋季全国火災予防運動期間中、市
役所庁舎で初の本格的な消防訓練を
実施しました。訓練では、本館2階湯
わかし室からの出火を想定し、消防署
への訓練通報、避難訓練、消火訓練な
どを行いました。また、避難先の補助
グラウンドで、大村消防署の指導を受
けて消火器による初期消火訓練も合わ
せて実施し、火災発生時の迅速な対
応を確認しました。

市役所で消防訓練を実施

11月15日